

この前、新年を迎えたと思ったら、もう 3 月。まさに光陰矢のごとし。残り 1 年余りとなった「平成時代」を充実して過ごしたいものです。「NPO 全世代」の会員や知人・友人らが自由に参加し、活動報告やざっくばらんな意見交換を行う場としてスタートした『全世代アゴラ』の第 2 回会合が 2 月 21 日、21 名が参加し、日比谷公園内の日比谷図書文化館会議室で開催。株式会社クレアン (<http://www.cre-en.jp>) の安藤正行さんが「持続可能な開発目標 (SDGs) を取り込んだ企業における活動」のテーマで基調講演しました。

次回 4 月 25 日 (水) です。詳細は下記 < 3 > をご覧ください。

(このメールマガジンは会員はじめ、私たちの活動にご理解、ご支援を期待する皆さまにお送りしています)

| < 1 > 【第 2 回全世代アゴラ】報告

講演では、国連加盟の 193 か国が 2015 年に合意した「人間、地球及び繁栄のための行動計画」SDGs (Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標) の取り組みの概要説明に続き、「17 目標のうち、貧困撲滅や教育・医療支援などいずれかの目標に合致した取り組みは、民間ファンドや政府援助などさまざまな形の資金支援を受けられる仕組みが整いつつあり、プライベートセクター=私企業にとっても、大きなビジネスチャンスが生まれた」と、世界中が長年苦勞してきた分野で新地平が切り拓かれつつあることが強調されました。各国の企業の具体成功例が紹介され、日本でも味の素や、住友化学、LIXIL、吉本興業などの企業や自治体、大学などがこれらの資金支援を得て国内外で事業展開しているとの話でした。

*安藤さんの所属する株式会社クレアンは、SDGs への企業の取り組みアドバイスなどのコンサルティングを専門的に行っており、設立から約 30 年、この分野を手掛けているユニークな会社です。関心のある方は、サイトをご覧ください。

・会場には全世代会員や知人、友人ら 17 人が参加。医療分野での経験などを踏まえ活発な質疑応答が行われました。これからは社会的価値のある企業活動や NPO 活動が大切になり、社会的信用も得てゆくだらう、ということでした。

(参考サイト：https://www.borderless-japan.com/members/social_business/7093/)

・アゴラの終了後、10 余人が地下のレストランに移り、会合に先立って経産省で開いた「NPO 連携分科会」にも議論が広がって率直な意見交換と交流を深めることができました。

| < 2 > 第 2 回『NPO連携分科会』も開催

第 2 回全世代アゴラの同じ日午後 4 時から「NPO 連携分科会」の第 2 回会合が千代田区霞ヶ関の経産省別館 1 階の 108 共有会議室で 10 人が集って開かれました。

この日は< 全世代で活動を決める際の価値基準・判断基準(団体設立時に議論) >について議論されました。

1. これまでの議論の整理

1. evidence に基づいたもの。根拠のある納得感を提供する。
2. 若い世代も面白いと思う提案
3. 心の琴線に触れる(心理的共感)
4. 提案を聞いたときに、「私も実はそう思っていた」と思える内容。
5. 皆が、この提案が実現できれば社会が一步前進するという感覚・期待
6. 大切な問題だが、今まで政治の舞台等で議論されてこなかったテーマ
7. 実現可能性があるテーマ
8. 横につなげていく論理(教育に関しては制度、経済、教員育成、学校教育、家庭など繋げる方向へ)
9. 中長期スパンか、短期スパンか(両方が必要))
10. 総花的なことではなく、急所を突く

上記に基づいてこれまで全世代の活動は決めてきた。その結果取り上げられてきたのが、医師の地理的偏在、待機児童・病児保育問題、不定芽プロジェクト等がある。

2. 議論

上記従来の価値基準に加え、他の NPO との連携を模索する際には、新たに以下も判断のための価値基準に加える

- 課題に注目して暗いトーンになるのではなく、あくまでも明るいトーン
- 未来志向(現在から未来を見る)ではなく、未来視点(少し先の未来から現在を見て見る)(バックキャストイング)。全員が未来志向になれると要望合戦にもならない。
- **理想とリアリティのバランス**
 - 国のあるべき姿を見据えて長期的な視野に訴えかけることは大事な一方、身近なこととして捉えられず単なるスローガンに終わる可能性がある。理想を掲げつつもリアリティ=当事者目線・現場の声を取り入れる(生の声を生の声のまま使う、国は一般化しがち)。
 - 自分の生活との利害関係で見ると国民は動く。エリート目線・上から目線・理想的なことを語った場合には、自分ごととして捉えられない。

- 「絶対的な当事者意識」
 - 誰か強く“やりたい”思う人がいないと活動はできない。NPO を繋げるだけでは活動の持続性はない。どこかの人・NPO が強い当事者意識を持ち引っ張ることが必要
- リアリティ(に留まってしまうこと)を乗り越えていくためには、**絶対的当事者意識**がないと前に進めない(理想論だけではリアリティから乗り越えられない)。理想論を掲げつつ、絶対的当事者意識を持つ人が“なぜ、今、この問題に取り組みたいのか”感情に訴えていくことが大切になる。

上記価値基準とは別に配慮すべきもの

- 普遍的価値(いつの時代でも、どの世代でも変わらないもの)、特に日本古来の価値観や伝統への視点を活動に取り入れていくのはどうか。
- 近代的合理主義の限界が見える中で、従来の西洋基準の価値観に基づきバックキャストを行うのか、東洋的価値観・思想に立ち返るのか。但し、東洋的思想は日本人に馴染み深いが必ずしも万能ではないことも留意。
- 自分ごととして何かを取られる、言い換えると**利己的な視点**と、中長期的に社会を考えていくために必要な**利他的な視点**とのバランスをどう取るのか。利他的な視点のためには、**自分が経験したこと以外への共感力・想像力**を培うことが必要になる。

3. その他

- 連携のための大きなテーマとして当初、「国の政策に国民の意見が反映される方法を検討する」こと及び「財政規律の在り方」を挙げていたが、テーマについては財政規律を必ずしも取り上げる必要はないのではないか。
- 「大切な問題だが、今まで政治の舞台等で議論されてこなかったテーマ」が価値基準・判断基準の一つとして掲げられているが、大切なテーマで政策が立案されているにもかかわらず PDCA がちゃんと回されていないものに対しても取り組みが必要ではないか。
 - 我々が行政の事業レビューを実施してはどうか。ただし、政策批判・取り組み批判に終始しないために、そこにどういった action を加えれば良いのかを含めた提言のような形(全世代がすでに action を起こしている者であればなお良い)
 - 国政に限らず、地方議会も対象となる。ユースデモクラシーでは地方自治体の行政評価をすでに実施しているので将来的な連携の可能性があるのでないか。

会議の後、全世代アゴラでクラン安藤さんのご講演を聞いて、今後以下2点についても含める方向で検討する。

- SDGs(持続可能な開発目標)達成に資する活動内容
- Public sector や NPO だけでなく private sector を巻き込む

また安藤さんの情報として、これからの議論及び財源確保に参考になる下記のサイト(<1>にも

掲載)が紹介されました。多々参考になりますので、ぜひご覧ください。

https://www.borderless-japan.com/members/social_business/7093/

| < 3 > 第3回『全世代アゴラ』の開催予告

全世代アゴラはほぼ2カ月に1回ずつ開催。次回の開催予定は下記の通りです。お友達やご家族にも声掛けいただき、奮ってご参加ください。次回も興味深く、有意義な講演になりそうです。お楽しみに。

★日時：4月25日（水） 18:30～20:30（受付18時開始）

★場所：青山の「東京ウイメンズプラザ」第2会議室

<http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/>

<最寄り駅>

メトロ銀座線、半蔵門線、千代田線の表参道駅B2出口から徒歩7分

JR、東急、京王、メトロの渋谷駅ヒカリエ側出口より徒歩12分

★参加費 500円（全世代会員も非会員の方も老若男女・みな同じです）

★タイムテーブル

・18:30～ 基調講演 : 飯塚陽子さん

（東京大学 糖尿病・代謝内科 特任講師）

「医療の国際化に向けた取り組み」 ～ 夢を持ち・強みを活かし・自分に挑戦 ～

（次の世代に良いバトンを渡して）

・19:00 過ぎ ディスカッション・意見交換

・21:00 前後 解散

| < 4 > 第2回不定芽CAFÉ TALKの開催予定

全世代不定芽プロジェクトの第2弾「“やりたいこと”で生きる」をテーマに（株）マイルズ代表取締役社長の遠山正道氏の講演とフリーディスカッション

★日時：3月21日（水） 15:00～17:00（受付開始14:00）

★場所：原宿の「TURN harajuku」

★参加費:1000円

★申込：Facebook イベントページ (@futeiga.pj)

